

柏崎刈羽原子力発電所 第7号機 重大事故等クラス2機器 供用期間中検査10年計画

注-1 検査方法
 VT:1,2,3:肉眼検査
 PT:浸透探傷検査
 UT:超音波探傷検査

注-2 接近性
 A:構造上ならびに放射線レベル上から接近不可能
 B:検査方法の開発、十分な予備調査が必要
 C:現状で検査可能

第9回定期検査からJSME S NAI-2008に準拠する
 第11回定期検査からJSME S NAI-2012/2013/2014に準拠し、重大事故等対処設備の供用期間中検査を開始する

検査カテゴリ	検査箇所	設備数	検査		接近性	検査実績		検査予定					備考
			方法	程度		第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	
B-F	耐圧部分の異種金属の溶接継手 呼び径100A未満の管	クラス1機器供用期間中検査管理	PT	25%	C			1					第10回のクラス1機器供用期間中検査で検査した耐圧部分の異種金属の溶接継手のうち、重大事故等時における主流路上の継手について再度検査を実施 (第11回:4-B・W101,W101-1)
			PT	25%	C	クラス1機器供用期間中検査管理							
B-G-1	直径50mmを超える圧力保持用ボルト締付け部 弁	クラス1機器供用期間中検査管理	UT	VT-1 代表1台の25%	C	クラス1機器供用期間中検査管理							
B-G-2	直径50mm以下の圧力保持用ボルト締付け部 弁	クラス1機器供用期間中検査管理		VT-1 代表2台の25%	C				1(6組)			第10回のクラス1機器供用期間中検査で検査したボルト締付け部(F052A)を実施	
				VT-1 代表2台の25%	C	クラス1機器供用期間中検査管理							
		クラス1機器供用期間中検査管理		VT-1 代表1台の25%	C	クラス1機器供用期間中検査管理							
		クラス1機器供用期間中検査管理		VT-1 代表5台の25%	C					1(4組)	1(4組)	第9・10回のクラス1機器供用期間中検査で検査したボルト締付け部(F006B,F005B)を実施 (第13回:F006B) (第14回:F005B)	
		クラス1機器供用期間中検査管理		VT-1 代表5台の25%	C	クラス1機器供用期間中検査管理							
		クラス1機器供用期間中検査管理		VT-1 代表3台の25%	C				1(4組)			第10回のクラス1機器供用期間中検査で検査したボルト締付け部(F004B)を実施	
		クラス1機器供用期間中検査管理		VT-1 代表3台の25%	C	クラス1機器供用期間中検査管理							
クラス1機器供用期間中検査管理		VT-1 代表1台の25%	C			1(3組)				第9回のクラス1機器供用期間中検査で検査したボルト締付け部(F036)を実施			
クラス1機器供用期間中検査管理		VT-1 代表1台の25%	C	クラス1機器供用期間中検査管理									

柏崎刈羽原子力発電所 第7号機 重大事故等クラス2機器 供用期間中検査10年計画

注-1 検査方法
 VT-1,2,3:肉眼検査
 PT:浸透探傷検査
 UT:超音波探傷検査

注-2 接近性
 A:構造上ならびに放射線レベル上から接近不可能
 B:検査方法の開発、十分な予備調査が必要
 C:現状で検査可能

第9回定期検査からJSME S NAI-2008に準拠する
 第11回定期検査からJSME S NAI-2012/2013/2014に準拠し、重大事故等対処設備の供用期間中検査を開始する

検査カテゴリ	検査箇所	設備数	検査		接近性	検査実績					検査予定	備考				
			方法	程度		第9回	第10回	第11回	第12回	第13回			第14回	第15回		
B-J	管台とセーフエント、管の耐圧部分の同種金属の溶接継手	呼び径100A以上の管	(1)主蒸気系	クラス1機器供用期間中検査管理	UT				25%	C	クラス1機器供用期間中検査管理					
			(2)給水系	クラス1機器供用期間中検査管理	UT								2			1
		クラス1機器供用期間中検査管理		UT												
		(3)残留熱除去系	クラス1機器供用期間中検査管理	UT									2	2		第9・10回のクラス1機器供用期間中検査で検査した管の耐圧部分の同種金属の溶接継手のうち、重大事故等時における主流路上の継手について再度検査を実施 (第12回:106-B・W1および106-B・W2) (第13回:110-A・W1および106-B・W3)
			クラス1機器供用期間中検査管理	UT												
		(4)高圧炉心注水系	クラス1機器供用期間中検査管理	UT											1	第9回のクラス1機器供用期間中検査で検査した管の耐圧部分の同種金属の溶接継手のうち、重大事故等時における主流路上の継手について再度検査を実施 (第14回:8-A・C0050)
	クラス1機器供用期間中検査管理		UT													
	(5)原子炉隔離時冷却系	クラス1機器供用期間中検査管理	UT											1	第10回のクラス1機器供用期間中検査で検査した管の耐圧部分の同種金属の溶接継手のうち、重大事故等時における主流路上の継手について再度検査を実施 (第15回:33-B・W1)	
		クラス1機器供用期間中検査管理	UT													
	呼び径100A未満の管	(1)ほう酸水注入系	クラス1機器供用期間中検査管理		PT									1	第9回のクラス1機器供用期間中検査で検査した管の耐圧部分の同種金属の溶接継手のうち、重大事故等時における主流路上の継手について再度検査を実施 (第14回:4-B・W16)	
			クラス1機器供用期間中検査管理		PT											
		(2)高圧炉心注水系	クラス1機器供用期間中検査管理		PT											
B-K	管、ポンプおよび弁の支持部材取付け溶接継手	管	(1)残留熱除去系	クラス1機器供用期間中検査管理		PT			7.5%	C	クラス1機器供用期間中検査管理					

柏崎刈羽原子力発電所 第7号機 重大事故等クラス2機器 供用期間中検査10年計画

注-1 検査方法
 VT-1,2,3:肉眼検査
 PT:浸透探傷検査
 UT:超音波探傷検査

注-2 接近性
 A:構造上ならびに放射線レベル上から接近不可能
 B:検査方法の開発、十分な予備調査が必要
 C:現状で検査可能

第9回定期検査からJSME S NA1-2008に準拠する
 第11回定期検査からJSME S NA1-2012/2013/2014に準拠し、重大事故等対処設備の供用期間中検査を開始する

検査カテゴリ	検査箇所	設備数	検査		接近性	検査実績		検査予定					備考	
			方法	程度		第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回		
B-M-2	弁本体の内表面 呼び径100Aを超える弁箱	(1)給水系	クラス1機器供用期間中検査管理	VT-3	代表3台	C				1				第10回のクラス1機器供用期間中検査で検査した弁内表面(F052A)を実施
				VT-3	代表3台	C	クラス1機器供用期間中検査管理							
		(2)残留熱除去系	クラス1機器供用期間中検査管理	VT-3	代表5台	C					1	1		第9・10回のクラス1機器供用期間中検査で検査した弁内表面(F006B,F005B)を実施 (第13回:F006B) (第14回:F005B)
				VT-3	代表5台	C	クラス1機器供用期間中検査管理							
		(3)高压炉心注水系	クラス1機器供用期間中検査管理	VT-3	代表3台	C				1				第10回のクラス1機器供用期間中検査で検査した弁内表面(F004B)を実施
				VT-3	代表3台	C	クラス1機器供用期間中検査管理							
		(4)原子炉隔離時冷却系	クラス1機器供用期間中検査管理	VT-3	代表1台	C			1					第9回のクラス1機器供用期間中検査で検査した弁内表面(F036)を実施
				VT-3	代表1台	C	クラス1機器供用期間中検査管理							
B-P	全ての耐圧機器	(1)クラス1機器(クラス1機器から除外される機器及び小口径管の最も近い弁までを含む)	クラス1機器供用期間中検査管理	VT-2	定期検査毎	C	クラス1機器供用期間中検査管理					第10回定検起動前には未実施		
F-A	支持構造物 管	(1)給水系	クラス1機器供用期間中検査管理	VT-3	25%	C						1		第10回のクラス1機器供用期間中検査で検査した支持構造物のうち、重大事故等時における主流路上の支持構造物について再度検査を実施 (第14回:RE-FDW-P009)
				VT-3	25%	C	クラス1機器供用期間中検査管理							
		(2)ほう酸水注入系	クラス1機器供用期間中検査管理	VT-3	25%	C	クラス1機器供用期間中検査管理							
				VT-3	25%	C	クラス1機器供用期間中検査管理							
		(3)残留熱除去系	クラス1機器供用期間中検査管理	VT-3	25%	C					1			第9回のクラス1機器供用期間中検査で検査した支持構造物のうち、重大事故等時における主流路上の支持構造物について再度検査を実施 (第13回:SN-RHR-P001)
				VT-3	25%	C	クラス1機器供用期間中検査管理							
		(4)高压炉心注水系	クラス1機器供用期間中検査管理	VT-3	25%	C	クラス1機器供用期間中検査管理							
				VT-3	25%	C	クラス1機器供用期間中検査管理							
		(5)原子炉隔離時冷却系	クラス1機器供用期間中検査管理	VT-3	25%	C					1			第10回のクラス1機器供用期間中検査で検査した支持構造物のうち、重大事故等時における主流路上の支持構造物について再度検査を実施 (第13回:SN-RCIC-P001)
				VT-3	25%	C	クラス1機器供用期間中検査管理							

柏崎刈羽原子力発電所 第7号機 重大事故等クラス2機器 供用期間中検査10年計画

注-1 検査方法
 VT-1,2,3:肉眼検査
 PT:浸透探傷検査
 UT:超音波探傷検査

注-2 接近性
 A:構造上ならびに放射線レベル上から接近不可能
 B:現状で検査可能

第9回定期検査からJSME S NA1-2008に準拠する
 第11回定期検査からJSME S NA1-2012/2013/2014に準拠し、重大事故等対処設備の供用期間中検査を開始する

検査カテゴリ			検査箇所	設備数	検査		接近性	検査実績						備考		
					方法	程度		第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回		第15回	
C-A	容器の耐圧部分の溶接継手	残留熱除去系熱交換器	(1)管側鏡板と管板との溶接継手	クラス2機器供用期間中検査管理	UT		代表1基の7.5%	B				L001AW (98mm)				A号機を行う第9回のクラス2機器供用期間中検査で検査した継手(L001AW)を実施
					UT		代表1基の7.5%	B	クラス2機器供用期間中検査管理							
	格納容器圧力逃がし装置フィルタ装置	(1) 上部ヘッドと上部シェルとの溶接継手	1基×12768mm	UT		7.5%	B				FV-ISI-CA1 (320mm)		FV-ISI-CA1 (320mm)	FV-ISI-CA1 (320mm)		
		(2) 下部ヘッドと下部シェルとの溶接継手	1基×12768mm	UT		7.5%	B				FV-ISI-CA2 (320mm)	FV-ISI-CA2 (320mm)		FV-ISI-CA2 (320mm)		
C-B	容器と管台との耐圧部分の溶接継手	残留熱除去系熱交換器	(1)管台と管側鏡板との溶接継手	クラス2機器供用期間中検査管理	UT	PT	代表1基の7.5%	B	クラス2機器供用期間中検査管理							
		格納容器圧力逃がし装置フィルタ装置	(1)容器と管台との耐圧部分の溶接継手	1管台		PT	7.5%	B						1		
			(1)容器と管台との耐圧部分の溶接継手	1管台		PT	7.5%	B						1		
			(1)容器と管台との耐圧部分の溶接継手	1管台		VT-2	7.5%	B						1		

柏崎刈羽原子力発電所 第7号機 重大事故等クラス2機器 供用期間中検査10年計画

注-1 検査方法
 VT-1,2,3:肉眼検査
 PT:浸透探傷検査
 UT:超音波探傷検査

注-2 接近性
 A:構造上ならびに放射線レベル上から接近不可能
 B:現状で検査可能

第9回定期検査からJSME S NA1-2008に準拠する
 第11回定期検査からJSME S NA1-2012/2013/2014に準拠し、重大事故等対処設備の供用期間中検査を開始する

検査カテゴリ	検査箇所	設備数	検査		接近性	検査実績					検査予定			備考
			方法	程度		第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回		
C-C 容器、管、ポンプおよび弁の支持部材取付け溶接継手	A系 ・E11-F065～高压代替注水系合流部	1箇所	PT	7.5%	B						1			
	A系 ・E11-F011A～原子炉压力容器(A)系出口配管合流部 ・残留熱除去系ポンプ(A)～残留熱除去系熱交換器(A) ・残留熱除去系熱交換器(A)～B21 F056A出口合流部 ・サブプレッションプール注水配管(A)分岐部～E11-F008A B系 ・E11-F011B～原子炉压力容器(B)系出口配管合流部 ・残留熱除去系ポンプ(B)～残留熱除去系熱交換器(B) ・残留熱除去系熱交換器(B)～E11-F005B ・サブプレッションプール注水配管(B)分岐部～E11-F008B ・ドライウェルズプレイモード(B)分岐部～E11-F018B	クラス2機器供用期間中検査管理	PT	7.5%	B			1						第10回のクラス2機器供用期間中検査で検査した管の支持部材取付け溶接継手のうち、重大事故等時における主流路上の継手について再度検査を実施(第11回:11-C・S5～S8)
	C系 ・E11-F011C～原子炉压力容器(C)系出口配管合流部 ・残留熱除去系ポンプ(C)～残留熱除去系熱交換器(C) ・残留熱除去系熱交換器(C)～E11-F005C ・サブプレッションプール注水配管(C)分岐部～E11-F008C ・ドライウェルズプレイモード(C)分岐部～E11-F018C	クラス2機器供用期間中検査管理	PT	7.5%	B	クラス2機器供用期間中検査管理								
	(2)高压炉心注水系	クラス2機器供用期間中検査管理	PT	7.5%	B	クラス2機器供用期間中検査管理								
	(3)原子炉隔離時冷却系	・蒸気入口配管分岐部～E51-F065 ・E51-F037～原子炉隔離時冷却系ポンプ駆動用蒸気タービン ・原子炉隔離時冷却系ポンプ駆動用蒸気タービン出口分岐部～E51-F039 ・E51-F066～蒸気出口配管合流部	6箇所	PT	7.5%	B				1				
(4)高压代替注水系	・E51-F065～高压代替注水系ポンプ入口レジューサ ・高压代替注水系ポンプ出口分岐部～E51-F066 ・高压代替注水系ポンプ～E11-F065	5箇所	PT	7.5%	B			1						

柏崎刈羽原子力発電所 第7号機 重大事故等クラス2機器 供用期間中検査10年計画

注-1 検査方法
 VT:1,2,3;肉眼検査
 PT:浸透探傷検査
 UT:超音波探傷検査

注-2 接近性
 A:構造上ならびに放射線レベル上から接近不可能
 B:現状で検査可能

第9回定期検査からJSME S NA1-2008に準拠する
 第11回定期検査からJSME S NA1-2012/2013/2014に準拠し、重大事故等対処設備の供用期間中検査を開始する

検査カテゴリ	検査箇所		設備数	検査		接近性	検査実績		検査予定					備考	
				方法	程度		第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回		
C-C	容器,管,ポンプおよび弁の支持部材取付け溶接継手	ポンプ	(1)原子炉隔離時冷却系	クラス2機器供用期間中検査管理	PT	7.5%	B						1		第10回のクラス2機器供用期間中検査で検査した継手を実施(接近可能な4点のPT)(第14回:DF-8~11(RCIC))
		容器	(1)格納容器圧力逃がし装置フィルタ装置	1基×1箇所	PT	7.5%	B	クラス2機器供用期間中検査管理							
C-F	管の耐圧部分の溶接継手	呼び径100Aを超える管で公称厚さが9.5mmを超える溶接継手	A系 ・E11-F065~高压代替注水系合流部	20継手	UT PT	7.5%	B				1		1		
			(2)残留熱除去系	A系 ・E11-F011A~原子炉压力容器(A)系出口配管合流部 ・残留熱除去系ポンプ(A)~残留熱除去系熱交換器(A) ・残留熱除去系熱交換器(A)~B21 F056A出口合流部 ・サブプレッションプール注水配管(A)分岐部~E11-F008A B系 ・E11-F011B~原子炉压力容器(B)系出口配管合流部 ・残留熱除去系ポンプ(B)~残留熱除去系熱交換器(B) ・残留熱除去系熱交換器(B)~E11-F005B ・サブプレッションプール注水配管(B)分岐部~E11-F008B ・ドライウェルズブレイモード(B)分岐部~E11-F018B C系 ・E11-F011C~原子炉压力容器(C)系出口配管合流部 ・残留熱除去系ポンプ(C)~残留熱除去系熱交換器(C) ・残留熱除去系熱交換器(C)~E11-F005C ・サブプレッションプール注水配管(C)分岐部~E11-F008C ・ドライウェルズブレイモード(C)分岐部~E11-F018C	クラス2機器供用期間中検査管理	UT PT	7.5%	B					3	2	第9・10回のクラス2機器供用期間中検査で検査した管の耐圧部分の溶接継手のうち、重大事故等時における主流路上の継手について再度検査を実施(第13回:3-A・W2, 3-A・W3および11-A・W2)(第14回:7-A・W10および4-E・W10)
			(3)高压炉心注水系	クラス2機器供用期間中検査管理	UT PT	7.5%	B	クラス2機器供用期間中検査管理							
				クラス2機器供用期間中検査管理	UT PT	7.5%	B						1		第9回のクラス2機器供用期間中検査で検査した管の耐圧部分の溶接継手のうち、重大事故等時における主流路上の継手について再度検査を実施(第14回:7-B・W4)
					UT PT	7.5%	B	クラス2機器供用期間中検査管理							

柏崎刈羽原子力発電所 第7号機 重大事故等クラス2機器 供用期間中検査10年計画

注-1 検査方法
 VT-1,2,3:肉眼検査
 PT:浸透探傷検査
 UT:超音波探傷検査

注-2 接近性
 A:構造上ならびに放射線レベル上から接近不可能
 B:現状で検査可能

第9回定期検査からJSME S NA1-2008に準拠する
 第11回定期検査からJSME S NA1-2012/2013/2014に準拠し、重大事故等対処設備の供用期間中検査を開始する

検査カテゴリ	検査箇所	設備数	検査		接近性	検査実績		検査予定					備考			
			方法	程度		第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回				
C-F	管の耐圧部分の溶接継手 呼び径100Aを超える管で公称厚さが9.5mmを超える溶接継手	・蒸気入口配管分岐部～E51-F065 ・E51-F037～原子炉隔離時冷却系ポンプ駆動用蒸気タービン ・原子炉隔離時冷却系ポンプ駆動用蒸気タービン出口分岐部～E51-F039 ・E51-F066～蒸気出口配管合流部	42継手	UT	PT	7.5%	B			1	1		1	1		
		(4)原子炉隔離時冷却系		UT	PT	7.5%	B							1	第10回のクラス2機器供用期間中検査で検査した管の耐圧部分の溶接継手のうち、重大事故等時における主流路上の継手について再度検査を実施 (第15回:343-A・D1)	
		・E51-F036～E51-F037 ・原子炉隔離時冷却系ポンプ～B21-F056B出口合流部	クラス2機器供用期間中検査管理	UT	PT	7.5%	B	クラス2機器供用期間中検査管理								
		(5)高圧代替注水系	・E51-F065～高圧代替注水系ポンプ入口レジュューサ ・高圧代替注水系ポンプ出口分岐部～E51-F066 ・高圧代替注水系ポンプ～E11-F065	144継手	UT	PT	7.5%	B			2	2	3	2	2	
		(6)格納容器圧力逃がし装置	・格納容器フィルタバントライン窒素パージライン合流部～フィルタ装置入口ノズル	4継手	UT	PT	7.5%	B							1	
			・フィルタ装置	1継手	UT	PT	7.5%	B							1	フィルタ装置管台とフランジの溶接継手
C-G	ポンプおよび弁の耐圧部分の溶接継手	ポンプ	(1)残留熱除去系	クラス2機器供用期間中検査管理		PT	代表1台の7.5%	B						1(A)	Aポンプを行う 第10回のクラス2機器供用期間中検査で検査した継手を実施 (第14回:ML-1(RHR(A)))	
			(2)高圧炉心注水系	クラス2機器供用期間中検査管理		PT	代表1台の7.5%	B	クラス2機器供用期間中検査管理							
			(3)原子炉隔離時冷却系	クラス2機器供用期間中検査管理		PT	7.5%	B	クラス2機器供用期間中検査管理							

柏崎刈羽原子力発電所 第7号機 重大事故等クラス2機器 供用期間中検査10年計画

注-1 検査方法
 VT-1,2,3:肉眼検査
 PT:浸透探傷検査
 UT:超音波探傷検査

注-2 接近性
 A:構造上ならびに放射線レベル上から接近不可能
 B:現状で検査可能

第9回定期検査からJSME S NA1-2008に準拠する
 第11回定期検査からJSME S NA1-2012/2013/2014に準拠し、重大事故等対処設備の供用期間中検査を開始する

検査カテゴリ	検査箇所	設備数	検査		接近性	検査実績					検査予定					備考
			方法	程度		第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回				
F-A	支持構造物 管	A系 ・E11-F065～高压代替注水系合流部 B系 ・代替循環冷却配管残留熱除去系(B)分岐部～E11-F062	A系:3箇所 B系:3箇所	VT-3	A,B,C系の平均値の7.5%	B							1			A系を行う
		A系 ・E11-F011A～原子炉压力容器(A)系出口配管合流部 ・残留熱除去系ポンプ(A)～残留熱除去系熱交換器(A) ・残留熱除去系熱交換器(A)～B21 F056A出口合流部 ・サブプレッションプール注水配管(A)分岐部～E11-F008A ・E11-F001A～残留熱除去系ポンプ(A) B系 ・E11-F011B～原子炉压力容器(B)系出口配管合流部 ・残留熱除去系ポンプ(B)～残留熱除去系熱交換器(B) ・残留熱除去系熱交換器(B)～E11-F005B ・サブプレッションプール注水配管(B)分岐部～E11-F008B ・ドライウェルズブレイモード(B)分岐部～E11-F018B ・E11-F001B～残留熱除去系ポンプ(B) ・サブプレッションプール水移送配管(B)分岐部～代替循環冷却配管残留熱除去系(B)分岐部 ・低圧代替注水配管残留熱除去系(B)合流部～E11-F032B		VT-3	A,B,C系の平均値の7.5%	B							1	第10回のクラス2機器供用期間中検査で検査した支持構造物のうち、重大事故等時における主流路上の支持構造物について再度検査を実施(第15回:RE-RHR-R005)		
		C系 ・E11-F011C～原子炉压力容器(C)系出口配管合流部 ・残留熱除去系ポンプ(C)～残留熱除去系熱交換器(C) ・残留熱除去系熱交換器(C)～E11-F005C ・サブプレッションプール注水配管(C)分岐部～E11-F008C ・ドライウェルズブレイモード(C)分岐部～E11-F018C ・E11-F001C～残留熱除去系ポンプ(C)	クラス2機器供用期間中検査管理	VT-3	A,B,C系の平均値の7.5%	B										クラス2機器供用期間中検査管理
	(2)高压炉心注水系	クラス2機器供用期間中検査管理	VT-3	B,C系の平均値の7.5%	B										クラス2機器供用期間中検査管理	

柏崎刈羽原子力発電所 第7号機 重大事故等クラス2機器 供用期間中検査10年計画

注-1 検査方法
 VT-1,2,3:肉眼検査
 PT:浸透探傷検査
 UT:超音波探傷検査

注-2 接近性
 A:構造上ならびに放射線レベル上から接近不可能
 B:現状で検査可能

第9回定期検査からJSME S NA1-2008に準拠する
 第11回定期検査からJSME S NA1-2012/2013/2014に準拠し、重大事故等対処設備の供用期間中検査を開始する

検査カテゴリ	検査箇所	設備数	検査		接近性	検査実績			検査予定				備考			
			方法	程度		第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回				
F-A	支持構造物	管	(3)原子炉隔離時冷却系	・蒸気入口配管分岐部～E51-F065 ・E51-F037～原子炉隔離時冷却系ポンプ駆動用蒸気タービン ・原子炉隔離時冷却系ポンプ駆動用蒸気タービン出口分岐部～E51-F039 ・E51-F066～蒸気出口配管合流部 ・原子炉隔離時冷却系ポンプ駆動用蒸気タービン～原子炉隔離時冷却系ポンプ駆動用蒸気タービン出口分岐部 ・E51-F006～原子炉隔離時冷却系ポンプ	12箇所	VT-3	7.5%	B				1				
				・E51-F036～E51-F037 ・原子炉隔離時冷却系ポンプ～B21-F056B出口合流部	クラス2機器供用期間中検査管理	VT-3	7.5%	B	クラス2機器供用期間中検査管理							
			(4)高压代替注水系	・E51-F065～高压代替注水系ポンプ入口レジューサ ・高压代替注水系ポンプ～E51-F066 ・高压代替注水系ポンプ～E11-F065	38箇所	VT-3	7.5%	B			2				1	
			(5)非常用ガス処理系	・原子炉建屋原子炉区域～非常用ガス処理系乾燥装置 ・非常用ガス処理系排風機～非常用ガス処理系フィルタ装置 ・非常用ガス処理系フィルタ装置～T22-F004A,B	10箇所	VT-3	7.5%	B						1		
			(6)不活性ガス系	・T31-F019～T31-F070 ・T31-F022～ドライウェル・サブプレッションチェンパ合流部 ・耐圧強化ベントバイパスライン分岐部～T31-F072	4箇所	VT-3	7.5%	B							1	
			(7)格納容器圧力逃がし装置	・T31-F070～耐圧強化ベントバイパスライン合流部 ・T31-F072～耐圧強化ベントバイパスライン合流部 ・耐圧強化ベントバイパスライン合流部～格納容器フィルタベントライン分岐部 ・格納容器フィルタベントライン分岐部～格納容器フィルタベントライン窒素バージライン合流部 ・格納容器フィルタベントライン窒素バージライン合流部～フィルタ装置入口ノズル	9箇所	VT-3	7.5%	B						1		

柏崎刈羽原子力発電所 第7号機 重大事故等クラス2機器 供用期間中検査10年計画

注-1 検査方法
 VT-1,2,3:肉眼検査
 PT:浸透探傷検査
 UT:超音波探傷検査

注-2 接近性
 A:構造上ならびに放射線レベル上から接近不可能
 B:現状で検査可能

第9回定期検査からJSME S NA1-2008に準拠する
 第11回定期検査からJSME S NA1-2012/2013/2014に準拠し、重大事故等対処設備の供用期間中検査を開始する

検査カテゴリ	検査箇所	設備数	検査		接近性	検査実績		検査予定					備考			
			方法	程度		第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回				
F-A	容器	(1)格納容器圧力逃がし装置フィルタ装置	1基×1式		VT-3	7.5%	B						1			
	支持構造物	ポンプ	(1)残留熱除去系	クラス2機器供用期間中検査管理		VT-3	代表1台の7.5%	B						1(A)		Aポンプを行う第10回のクラス2機器供用期間中検査で検査した支持構造物を実施(第14回:支持構造物(RHR(A)))
			(2)高圧炉心注水系	クラス2機器供用期間中検査管理		VT-3	代表1台の7.5%	B	クラス2機器供用期間中検査管理							
			(3)原子炉隔離時冷却系	クラス2機器供用期間中検査管理		VT-3	7.5%	B	クラス2機器供用期間中検査管理							
			(4)高圧代替注水系	1台×1箇所		VT-3	7.5%	B						1		

柏崎刈羽原子力発電所第7号機 重大事故等クラス2機器 供用期間中検査(漏えい検査)10年計画

注-1 検査方法
 VT-1,2,3:肉眼検査
 PT:浸透探傷検査
 UT:超音波探傷検査

注-2 接近性
 A:構造上ならびに放射線レベル上から接近不可能
 B:検査方法の開発、十分な予備調査が必要
 C:現状で検査可能

第9回定期検査からJSME S N A1-2008に準拠する
 第11回定期検査からJSME S N A1-2012/2013/2014に準拠し、重大事故等対処設備の供用期間中検査を開始する

検査カテゴリ	系統名	検査圧力 [MPa]	設備数	検査		接近性	検査実績			検査予定			備考		
				方法	程度		第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回		第15回	
C-H	全ての耐圧機器	(1) 主蒸気系	9.22/2.00	19ライン	VT-2	100%	C			19					
		(2) 給水系	9.22/8.62	2ライン	VT-2	100%	C				2				
		(3) 制御棒駆動系	18.6	103ライン	VT-2	100%	C					103			
		(4) ほう酸水注入系	10.8/9.22 /1.37	1ライン	VT-2	100%	C						1		
		(5) 残留熱除去系	9.22/8.62 /3.43/2.00 /1.37	3ライン	VT-2	100%	C			1 (B)	1 (C)			1 (A)	
		(6) 高圧炉心注水系	11.77/9.22 /1.37	2ライン	VT-2	100%	C					1 (B)	1 (C)		
		(7) 原子炉隔離時冷却系(水系)	11.77/8.62 /1.37	1ライン	VT-2	100%	C							1	
		(8) 原子炉隔離時冷却系(蒸気ライン)	9.22/8.62 /0.98	1ライン	VT-2	100%	C			1					
		(9) 高圧代替注水系(水系)	11.8/8.62 /1.37	1ライン	VT-2	100%	C				1				
		(10) 高圧代替注水系(蒸気ライン)	8.62/0.98	1ライン	VT-2	100%	C					1			
		(11) 補給水系	2.00/1.70 /1.37	2ライン	VT-2	100%	C							2	
		(12) 代替給水設備	2.00	2ライン	VT-2	100%	C				2				
		(13) 高圧窒素ガス供給系	19.6/2.00 /1.77	1ライン	VT-2	100%	C			1					
		(14) 非常用ディーゼル発電設備燃料油系	0.98/0.10	3ライン	VT-2	100%	C			1 (A)		1 (B)	1 (C)		
		(15) 非常用ディーゼル発電設備始動空気及び吸排気系	3.24	3ライン	VT-2	100%	C			1 (A)	1 (B)		1 (C)		
		(16) 第一ガスタービン発電設備燃料移送系	0.950	1ライン	VT-2	100%	C						1		
		(17) 非常用ガス処理系	0.025/0.014	1ライン	VT-2	100%	C				1				
		(18) 不活性ガス系	0.62	1ライン	VT-2	100%	C					1			
		(19) 格納容器圧力逃がし装置	15.0/1.0 /0.87/0.62	6ライン	VT-2	100%	C							6	
		(20) 中央制御室換気空調系	0.00275	2ライン	VT-2	100%	C					2			
		(21) 中央制御室待避室陽圧化換気空調系	15.0/0.5 /0.02	1ライン	VT-2	100%	C						1		
		(22) 緊急時対策所換気空調系	15.0/1.0 /0.04	2ライン	VT-2	100%	C							2	

柏崎刈羽原子力発電所 第7号機 重大事故等クラス2機器 供用期間中検査10年計画

注-1 検査方法
 VT-4:肉眼検査
 PT:浸透探傷検査
 UT:超音波探傷検査

注-2 接近性
 A:構造上ならびに放射線レベル上から接近不可能
 B:検査方法の開発, 十分な予備調査が必要
 C:現状で検査可能

第9回定期検査からJSME S NAI-2008に準拠する
 第11回定期検査からJSME S NAI-2012/2013/2014に準拠し, 重大事故等対処設備の供用期間中検査を開始する

検査カテゴリ	検査箇所	設備数	検査		接近性	検査実績		検査予定					備考			
			方法	程度		第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回				
E-B	耐圧部分の溶接継手	(1)格納容器貫通部	クラスMC容器供用期間中検査管理	VT-4	7.5%	C						1	1			クラス1機器が直接接続される貫通部 PCV/バウンダリ拡大分から1箇所(X-33A C004TY)選定 第10回のDB-ISIで検査した溶接継手(X-12A C001TY)を実施 (第12回:X-12A C001TY) (第13回:X-33A C004TY)
			クラスMC容器供用期間中検査管理	VT-4	7.5%	C	クラスMC容器供用期間中検査管理									
E-G	圧力保持用ボルト締付け部	(1)ドライウェル主フランジ	クラスMC容器供用期間中検査管理	VT-4	25%	C	クラスMC容器供用期間中検査管理									
		(2)上部ドライウェル機器搬入用ハッチ	クラスMC容器供用期間中検査管理	VT-4	25%	C	クラスMC容器供用期間中検査管理									
		(3)下部ドライウェル機器搬入用ハッチ	クラスMC容器供用期間中検査管理	VT-4	25%	C	クラスMC容器供用期間中検査管理									
		(4)供用期間中検査用ハッチ	クラスMC容器供用期間中検査管理	VT-4	25%	C			1(3組)					第10回のクラスMC容器供用期間中検査で検査したボルト締付け部を実施 (第11回:X-3 供用期間中検査用ハッチ)		
			クラスMC容器供用期間中検査管理	VT-4	25%	C	クラスMC容器供用期間中検査管理									
		(5)サブプレッションチェンバ出入口	クラスMC容器供用期間中検査管理	VT-4	25%	C			1(4組)					第10回のクラスMC容器供用期間中検査で検査したボルト締付け部を実施 (第11回:X-4 サブプレッションチェンバ出入口)		
			クラスMC容器供用期間中検査管理	VT-4	25%	C	クラスMC容器供用期間中検査管理									
(6)TIP案内管/TIPパージ	クラスMC容器供用期間中検査管理	VT-4	25%	C	クラスMC容器供用期間中検査管理					フランジ単位にて実施						
E-P	全ての耐圧機器	(1)格納容器耐圧バウンダリ	クラスMC容器供用期間中検査管理	漏えい率試験	定期検査毎	C	クラスMC容器供用期間中検査管理					全体漏えい率試験(JEAC4203)による 第10回定検起動前は未実施				

柏崎刈羽原子力発電所 第7号機 重大事故等クラス2機器(常用系) 供用期間中検査10年計画

注-1 検査方法
 VT-1,2,3:肉眼検査
 PT:浸透探傷検査
 UT:超音波探傷検査

注-2 接近性

A:構造上ならびに放射線レベル上から接近不可能
 B:検査方法の開発、十分な予備調査が必要
 C:現状で検査可能

JSME S NA1-2012/2013/2014に準拠し、重大事故等対処設備の供用期間中検査を開始する
 サイクル開始・終了年度については7号機再稼働準備状況に応じ、サイクル開始年度が7号機再稼働年度となる
 よう適宜見直しを行う

検査カテゴリ	検査箇所	設備数	検査		接近性	検査予定										備考		
			方法	程度		第1検査時期			第2検査時期				第3検査時期					
						1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目			
						2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031			
F-A	管	(1)原子炉補機冷却水系	クラス3機器(常用系)供用期間中検査管理		VT-3	A,B,C系の平均値の7.5%	B	クラス3機器(常用系)供用期間中検査管理										
		(2)原子炉補機冷却海水系	クラス3機器(常用系)供用期間中検査管理		VT-3	A,B,C系の平均値の7.5%	B	クラス3機器(常用系)供用期間中検査管理										
	容器	(1)残留熱除去系熱交換器	クラス3機器(常用系)供用期間中検査管理		VT-3	代表1基の7.5%	C	クラス3機器(常用系)供用期間中検査管理										
		(2)原子炉補機冷却系熱交換器	クラス3機器(常用系)供用期間中検査管理		VT-3	代表1基の7.5%	C	クラス3機器(常用系)供用期間中検査管理										
		(3)原子炉補機冷却海水系ストレーナ	クラス3機器(常用系)供用期間中検査管理		VT-3	代表1基の7.5%	C	クラス3機器(常用系)供用期間中検査管理										
	ポンプ	(1)原子炉補機冷却水系	クラス3機器(常用系)供用期間中検査管理		VT-3	代表1基の7.5%	C	クラス3機器(常用系)供用期間中検査管理										
(2)原子炉補機冷却海水系		クラス3機器(常用系)供用期間中検査管理		VT-3	代表1基の7.5%	C	クラス3機器(常用系)供用期間中検査管理											

柏崎刈羽原子力発電所 第7号機 重大事故等クラス2機器(常用系) 供用期間中検査10年計画

注-1 検査方法 — VT-4:肉眼検査
PT:浸透探傷検査
UT:超音波探傷検査

注-2 接近性 — A:構造上ならびに放射線レベル上から接近不可能
B:検査方法の開発, 十分な予備調査が必要
C:現状で検査可能

JSME S NA1-2012/2013/2014に準拠し, 重大事故等対処設備の供用期間中検査を開始する
サイクル開始・終了年度については7号機再稼働準備状況に応じ, サイクル開始年度が7号機再稼
働年度となるよう適宜見直しを行う

検査カテゴリ	検査箇所	設備数	検査		接近性	検査時期										備考		
			方法	程度		第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期						
						検査実績			検査予定									
			1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目						
			2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031						
E-A	格納容器表面	(1)サブプレッションチェンバ水没部	クラスMC容器(常用系) 供用期間中検査管理		VT-4	25%	C	クラスMC容器(常用系)供用期間中検査管理										シエル部及び底部ライナ部

柏崎刈羽原子力発電所第7号機 重大事故等クラス2機器(常用系) 供用期間中検査(漏えい検査)10年計画

注-1 検査方法

- VT-1,2,3:肉眼検査
- PT:浸透探傷検査
- UT:超音波探傷検査

注-2 接近性

- A:構造上ならびに放射線レベル上から接近不可能
- B:検査方法の開発、十分な予備調査が必要
- C:現状で検査可能

JSME S NA1-2012/2013/2014に準拠し、重大事故等対処設備の供用期間中検査を開始する
 サイクル開始・終了年度については7号機再稼働準備状況に応じ、サイクル開始年度が7号機再稼働
 年度となるよう適宜見直しを行う

検査カテゴリ	系統名	検査圧力 [MPa]	設備数	検査		接近性	第1検査時期	第2検査時期	第3検査時期	備考											
				方法	程度		検査予定														
							1年目 2022	2年目 2023	3年目 2024		4年目 2025	5年目 2026	6年目 2027	7年目 2028	8年目 2029	9年目 2030	10年目 2031				
C-H	全ての耐圧機器	(1) 燃料プール冷却浄化系	1.57	1ライン	VT-2	100%	C						1								
		(2) 原子炉補機冷却水系	1.37	3ライン	VT-2	100%	C			1 (A)				1 (B)				1 (C)			
		(3) 原子炉補機冷却海水系	0.78	3ライン	VT-2	100%	C					1 (A)				1 (B)				1 (C)	

柏崎刈羽原子力発電所 第7号機 重大事故等クラス3機器供用期間中検査(漏えい検査) 10年計画

注-1 検査方法
 VT-1,2,3:肉眼検査
 PT:浸透探傷検査
 UT:超音波探傷検査

注-2 接近性
 A:構造上ならびに放射線レベル上から接近不可能
 B:検査方法の開発,十分な予備調査が必要
 C:現状態で検査可能

JSME S NA1-2012/2013/2014に準拠し,重大事故等対処設備の供用期間中検査を開始する
 サイクル開始・終了年度については7号機稼働準備状況に応じ,サイクル開始年度が7号機稼働年度とな
 るよう適宜見直しを行う

検査カテゴリ	系統名	検査圧力 (MPa)	設備数	検査		接近性	検査予定										備考			
				方法	程度		第1検査時期			第2検査時期				第3検査時期						
							1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目				
							2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031				
D-B	全ての耐圧機器	(1)可搬型代替注水ポンプ(A-1級)	2.00	2設備	VT-2	100%	C	2												
		(2)可搬型代替注水ポンプ(A-2級)	2.00	17設備	VT-2	100%	C		17											
		(3)可搬型Y型ストレーナ	2.00	9設備	VT-2	100%	C			9										
		(4)代替給水設備 可搬型代替注水ポンプ屋外用 20mホース	2.00	1097設備	VT-2	100%	C				1097									
		(5)代替給水設備 可搬型代替注水ポンプ燃料 プール代替注水用屋外20mホース	2.00	20設備	VT-2	100%	C					20								
		(6)代替給水設備 可搬型代替注水ポンプ屋内用 20mホース	2.00	33設備	VT-2	100%	C						33							
		(7)燃料プール冷却浄化系 可搬型スプレィヘッド	1.60	2設備	VT-2	100%	C							2						
		(8)大容量送水車(海水取水用)	1.30	2設備	VT-2	100%	C								2					
		(9)代替給水設備 大容量送水車(海水取水用)吸 込20mホース	1.30	8設備	VT-2	100%	C										8			
		(10)代替給水設備 大容量送水車海水用 5m,10m,50mホース	1.30	35設備	VT-2	100%	C												35	

柏崎刈羽原子力発電所 第7号機 重大事故等クラス3機器供用期間中検査(漏えい検査) 10年計画

注-1 検査方法
 VT-1,2,3:肉眼検査
 PT:浸透探傷検査
 UT:超音波探傷検査

注-2 接近性
 A:構造上ならびに放射線レベル上から接近不可能
 B:検査方法の開発,十分な予備調査が必要
 C:現状で検査可能

JSME S NA1-2012/2013/2014に準拠し,重大事故等対処設備の供用期間中検査を開始する
 サイクル開始・終了年度については7号機稼働準備状況に応じ,サイクル開始年度が7号機稼働年度となるよう適宜見直しを行う

検査カテゴリ	系統名	検査圧力 (MPa)	設備数	検査		接近性	検査予定										備考		
				方法	程度		第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期						
							1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目			
							2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031			
D-B	全ての耐圧機器	(11)熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却系熱交換器	1.37/1.40	10設備	VT-2	100%	C	10											
		(12)熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却水ポンプ	1.37	8設備	VT-2	100%	C		8										
		(13)大容量送水車(熱交換器ユニット用)	1.30	5設備	VT-2	100%	C			5									
		(14)熱交換器ユニット 代替原子炉補機冷却海水ストレータ	1.40	8設備	VT-2	100%	C				8								
		(15)代替原子炉補機冷却系 熱交換器ユニット淡水用5mフレキシブルホース	1.37	30設備	VT-2	100%	C					30							
		(16)代替原子炉補機冷却系 大容量送水車(熱交換器ユニット用)吸込20mホース	1.30	20設備	VT-2	100%	C						20						
		(17)代替原子炉補機冷却系 熱交換器ユニット海水用10m,25m,50mホース	1.30	38設備	VT-2	100%	C							38					
		(18)高圧窒素ガスポンベ	14.70	25設備	VT-2	100%	C								25				
		(19)逃がし安全弁の作動に必要な窒素ガス喪失時の減圧設備 高圧窒素ガスポンベ～高圧窒素ガスポンベ接続口(A)及び高圧窒素ガスポンベ接続口(B)	19.60	20設備	VT-2	100%	C									20			
		(20)中央制御室陽圧化換気空調系 中央制御室可搬型陽圧化空調機用5m仮設ダクト	0.0024	12設備	VT-2	100%	C											12	
		(21)中央制御室可搬型陽圧化空調機(ファン)	0.0024	6設備	VT-2	100%	C	6											
		(22)中央制御室可搬型陽圧化空調機(フィルタユニット)	0.0024	3設備	VT-2	100%	C		3										

柏崎刈羽原子力発電所 第7号機 重大事故等クラス3機器供用期間中検査(漏えい検査) 10年計画

注-1 検査方法
 VT-1,2,3:肉眼検査
 PT:浸透探傷検査
 UT:超音波探傷検査

注-2 接近性
 A:構造上ならびに放射線レベル上から接近不可能
 B:検査方法の開発,十分な予備調査が必要
 C:現状で検査可能

JSME S NA1-2012/2013/2014に準拠し, 重大事故等対処設備の供用期間中検査を開始する
 サイクル開始・終了年度については7号機稼働準備状況に応じ, サイクル開始年度が7号機稼働年度となるよう適宜見直しを行う

検査カテゴリ	系統名	検査圧力 (MPa)	設備数	検査		接近性	検査予定										備考				
				方法	程度		第1検査時期			第2検査時期			第3検査時期								
							1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目					
							2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031					
D-B	全ての耐圧機器	(23)中央制御室待避室陽圧化装置(空気ポンペ)	14.70	200設備	VT-2	100%	C			200											
		(24)中央制御室待避室陽圧化換気空調系 中央制御室待避室陽圧化装置(配管)ポンベ接続管	15.00	200設備	VT-2	100%	C				200										
		(25)中央制御室待避室陽圧化換気空調系 中央制御室待避室陽圧化装置(配管)1.25m高压ホース	15.00	2設備	VT-2	100%	C					2									
		(26)5号機原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)陽圧化装置(空気ポンペ)	14.70	123設備	VT-2	100%	C						123								
		(27)5号機原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)陽圧化装置(空気ポンペ)	14.70	1792設備	VT-2	100%	C								1792						
		(28)緊急時対策所換気空調系 5号機原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部) 可搬型陽圧化空調機用10m仮設ダクト	0.0024	11設備	VT-2	100%	C									11					
		(29)緊急時対策所換気空調系 5号機原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所) 可搬型陽圧化空調機用10m仮設ダクト	0.0024	17設備	VT-2	100%	C										17				
		(30)緊急時対策所換気空調系 5号機原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)陽圧化装置(配管)ポンベ接続口～高压ホース接続口(上流側)	15.00	10設備	VT-2	100%	C													10	
		(31)緊急時対策所換気空調系 5号機原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)陽圧化装置(配管)1.5m,1.2m,1.0m高压ホース	15.00	10設備	VT-2	100%	C	10													
		(32)緊急時対策所換気空調系 5号機原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)陽圧化装置(配管)ポンベ接続口～高压ホース接続口(上流側)	15.00	100設備	VT-2	100%	C		100												
(33)緊急時対策所換気空調系 5号機原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)陽圧化装置(配管)1.5m,1.2m,1.0m高压ホース	15.00	100設備	VT-2	100%	C			100													

柏崎刈羽原子力発電所 第7号機 重大事故等クラス3機器供用期間中検査(漏えい検査) 10年計画

注-1 検査方法
 VT-1,2,3:肉眼検査
 PT:浸透探傷検査
 UT:超音波探傷検査

注-2 接近性
 A:構造上ならびに放射線レベル上から接近不可能
 B:検査方法の開発,十分な予備調査が必要
 C:現状で検査可能

JSME S NA1-2012/2013/2014に準拠し,重大事故等対処設備の供用期間中検査を開始する
 サイクル開始・終了年度については7号機再稼働準備状況に応じ,サイクル開始年度が7号機再稼働年度とな
 るよう適宜見直しを行う

検査カテゴリ	系統名	検査圧力 (MPa)	設備数	検査		接近性	検査予定										備考		
				方法	程度		第1検査時期			第2検査時期				第3検査時期					
							1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目			
							2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031			
D-B	全ての耐圧機器	(34)5号機原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)可搬型陽圧化空調機(ファン)	0.0024	2設備	VT-2	100%	C				2								
		(35)5号機原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)可搬型陽圧化空調機(ファン)	0.0024	3設備	VT-2	100%	C					3							
		(36)5号機原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)可搬型外気取入送風機	0.0024	3設備	VT-2	100%	C						3						
		(37)5号機原子炉建屋内緊急時対策所(対策本部)可搬型陽圧化空調機(フィルタユニット)	0.0024	2設備	VT-2	100%	C							2					
		(38)5号機原子炉建屋内緊急時対策所(待機場所)可搬型陽圧化空調機(フィルタユニット)	0.0024	3設備	VT-2	100%	C									3			
		(39)大容量送水車(原子炉建屋放水設備用)	1.30	1設備	VT-2	100%	C										1		
		(40)泡原液搬送車	0.02	2設備	VT-2	100%	C												2
		(41)原子炉建屋放水設備 大容量送水車(原子炉建屋放水設備用)吸込20mホース	1.30	4設備	VT-2	100%	C	4											
		(42)原子炉建屋放水設備 大容量送水車吐出放水砲用5m,10m,50mホース	1.30	34設備	VT-2	100%	C		34										
		(43)原子炉建屋放水設備 放水砲	0.90	2設備	VT-2	100%	C			2									
(44)泡原液混合装置	0.02	2設備	VT-2	100%	C				2										

柏崎刈羽原子力発電所 第7号機 重大事故等クラス3機器供用期間中検査(漏えい検査) 10年計画

注-1 検査方法
 VT-1,2,3:肉眼検査
 PT:浸透探傷検査
 UT:超音波探傷検査

注-2 接近性
 A:構造上ならびに放射線レベル上から接近不可能
 B:検査方法の開発,十分な予備調査が必要
 C:現状で検査可能

JSME S NA1-2012/2013/2014に準拠し,重大事故等対処設備の供用期間中検査を開始する
 サイクル開始・終了年度については7号機稼働準備状況に応じ,サイクル開始年度が7号機稼働年度となるよう適宜見直しを行う

検査カテゴリ	系統名	検査圧力 (MPa)	設備数	検査		接近性	検査予定										備考
				方法	程度		第1検査時期			第2検査時期				第3検査時期			
							1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	
				2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031				
D-B	全ての耐圧機器	(45)可搬型窒素供給装置	0.50	3設備	VT-2	100%	C					3					
		(46)格納容器圧力逃がし装置 可搬型窒素供給装置用20mホース	0.50	13設備	VT-2	100%	C					13					
		(47)スクラバ水pH制御設備用ポンプ	0.70	3設備	VT-2	100%	C						3				
		(48)遠隔空気駆動弁操作作用ポンペ	14.70	8設備	VT-2	100%	C							8			
		(49)格納容器圧力逃がし装置 スクラバ水pH制御設備用3m,5mホース	0.70	12設備	VT-2	100%	C								12		
		(50)水酸化ナトリウム水溶液	静水頭	104設備	VT-2	100%	C									104	
		(51)遠隔空気駆動弁操作設備(配管)ポンベ接続管	15.00	4設備	VT-2	100%	C	4									
		(52)遠隔空気駆動弁操作設備(配管)高圧ホース	15.00	4設備	VT-2	100%	C		4								
		(53)タンクローリ(16kL)	0.024	2設備	VT-2	100%	C			2							
		(54)タンクローリ(4kL)	0.024	4設備	VT-2	100%	C				4						
		(55)緊急安全対策資機材系 タンクローリ給油ライン接続用20mホース	0.32	2設備	VT-2	100%	C					2					
		(56)緊急安全対策資機材系 タンクローリ給油ライン接続用40mホース	0.32	4設備	VT-2	100%	C						4				
(57)緊急安全対策資機材系 タンクローリ給油ライン接続用3mホース	0.20	2設備	VT-2	100%	C							2					